

しのぶ様お茶です

ト
ツ

俺はしのぶ様の下で
働く元薬師

いえ

ズズッ

いつもありがとう

親父も薬師ということもあり
子供の時から薬に触れ

同時に毒にも
詳しくなつていった



薬屋



そこを買われ
鬼を殺す毒の実験の
手伝いをしている

しのぶ様は
幾度も試作を
繰り返す日々

鬼をこの世から
消し去るために
毒を作っているらしいが

はつきり言つて俺は
鬼になんて
まったく興味がない

それは

俺が興味を示すのはただ一つ

胡蝶しのぶだ

一目見た時から
俺は彼女の虜

あの時から
何が何でも俺の
ものにしてやると

信頼を得ていき

裏で俺は
一つの策略を
勧めていた

毒の知識を元に

ホタツ

俺にしか欲情
しない催淫薬だ

さらに精子を
混ぜることによつて

ヒュウッ

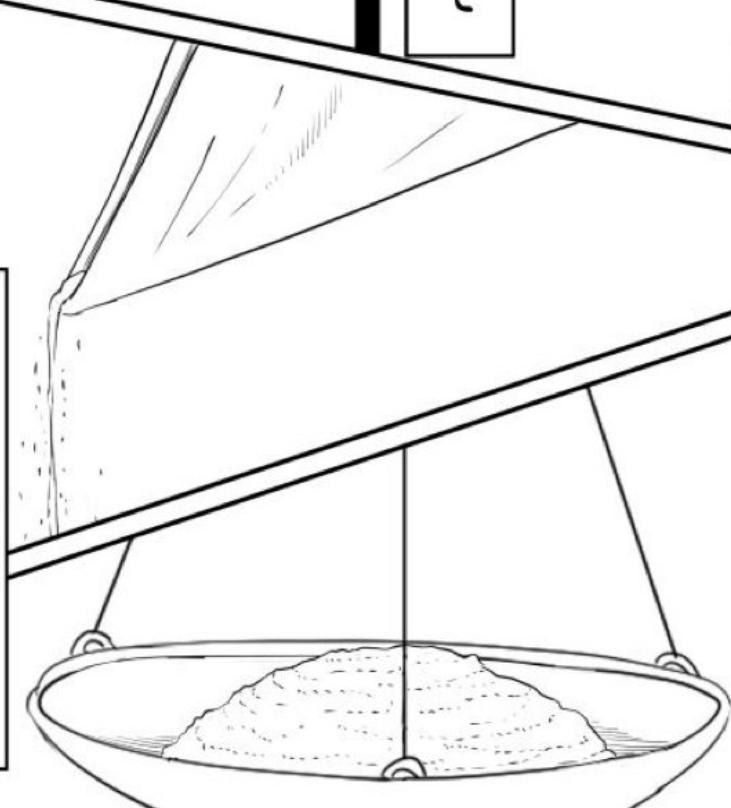
しかも俺が開発した特注の催淫薬

サラサラ

毎朝出すお茶に
催淫薬を入れること



少しづつ増やして…



いきなり大量に混ぜると
毒に敏感なしのぶ様は感づく



なんだか最近身体がおかしい…

彼を見ると下の方が

疼く…

恋をしているとか
じゃなくてこれは

しのぶ様



ありが…とう…

お茶です



あっごめんなさい

しのぶ様

どうぞ冷めない
うちに飲んで
ください

いえ何でもつ

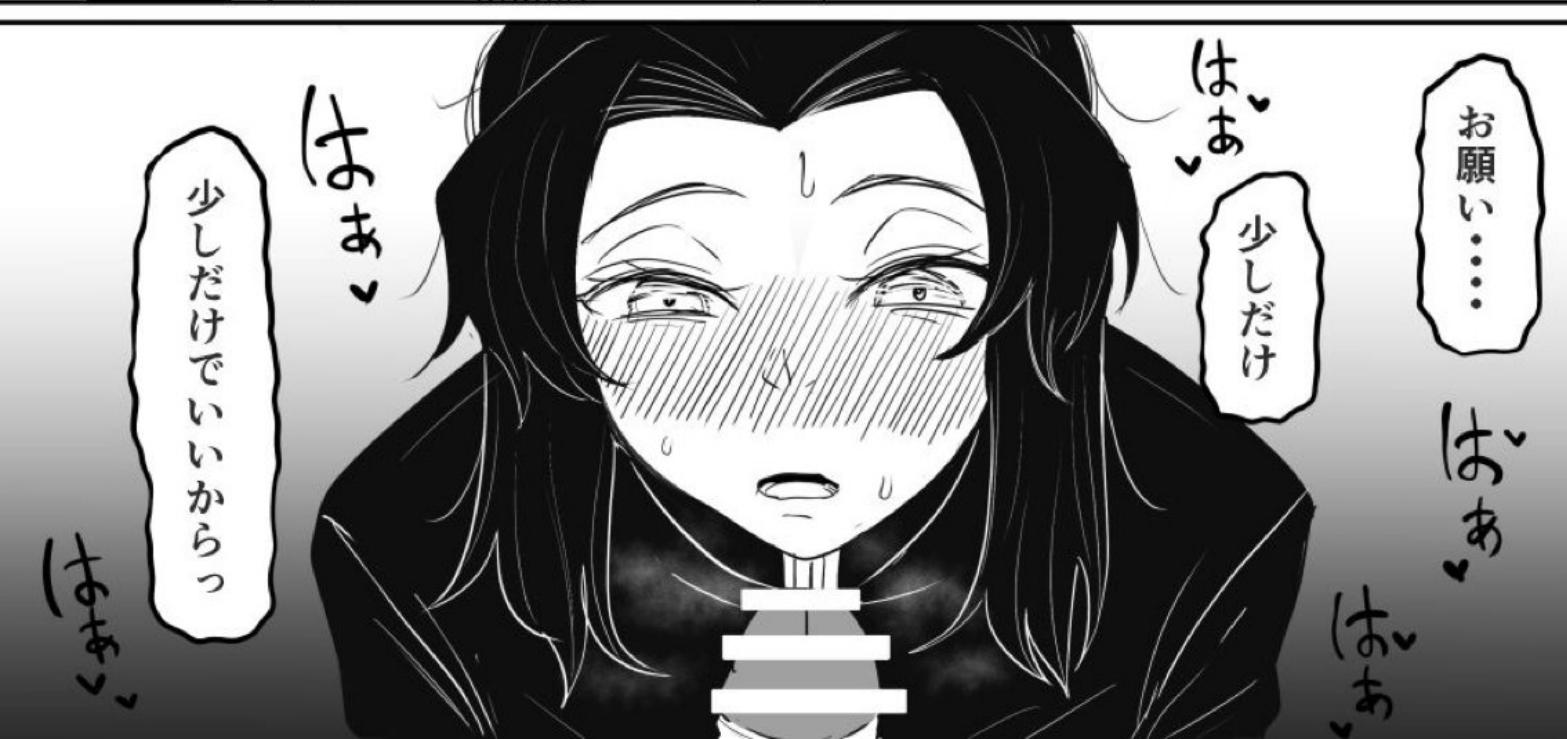
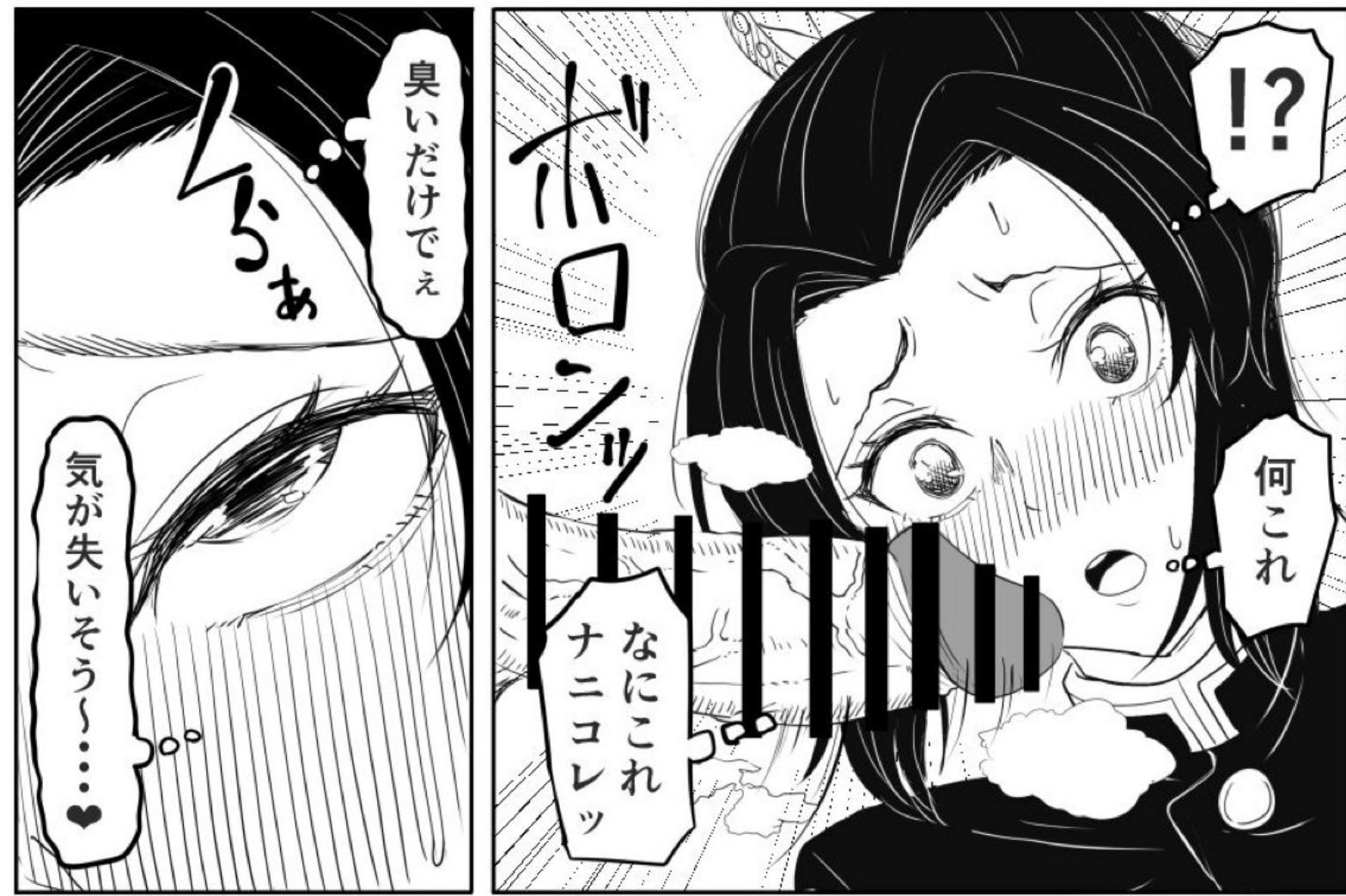
どうされましたか?

ええ…
ズズ…

コトッ









私の身体から湧き出る

性の欲求

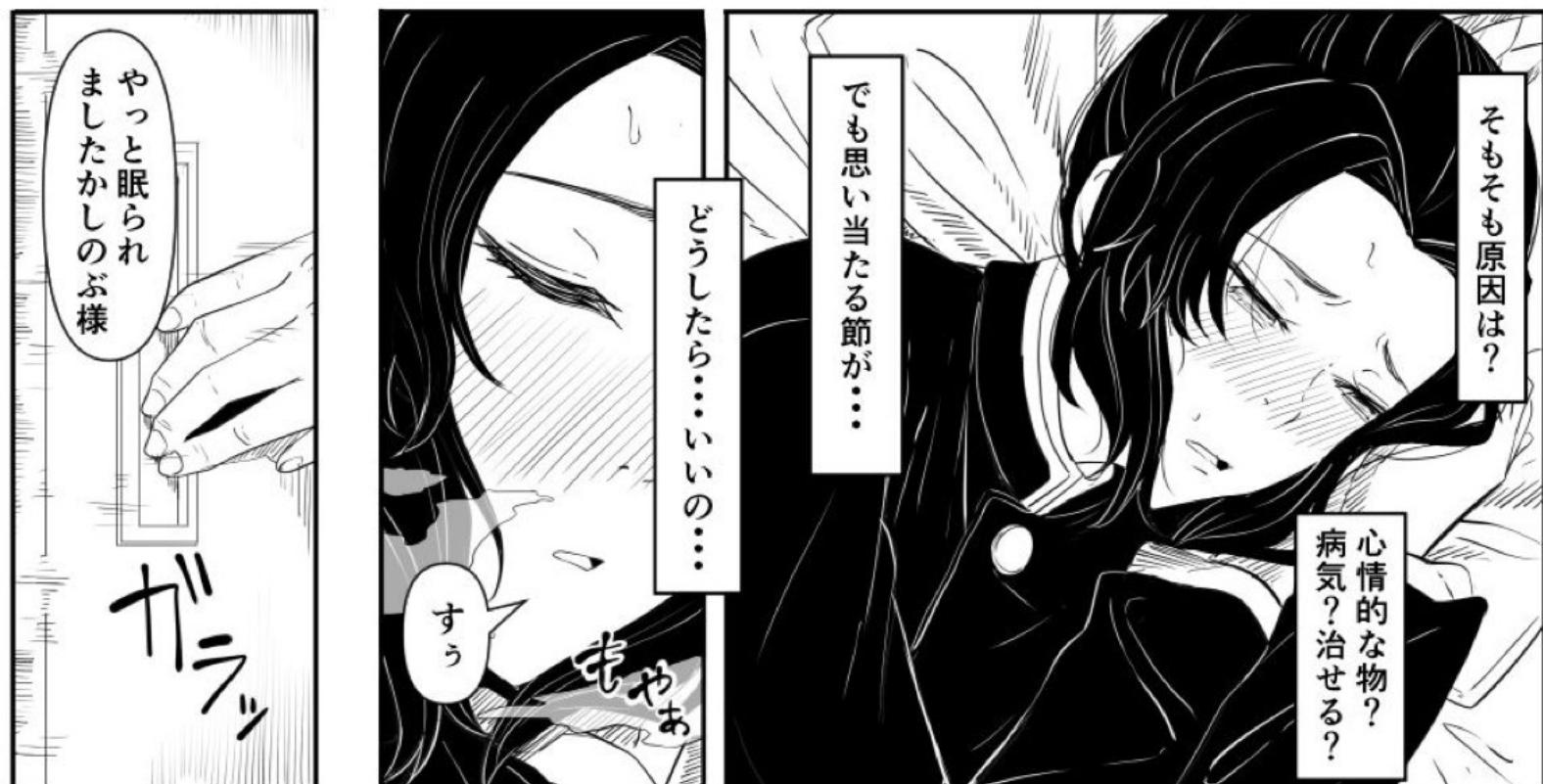
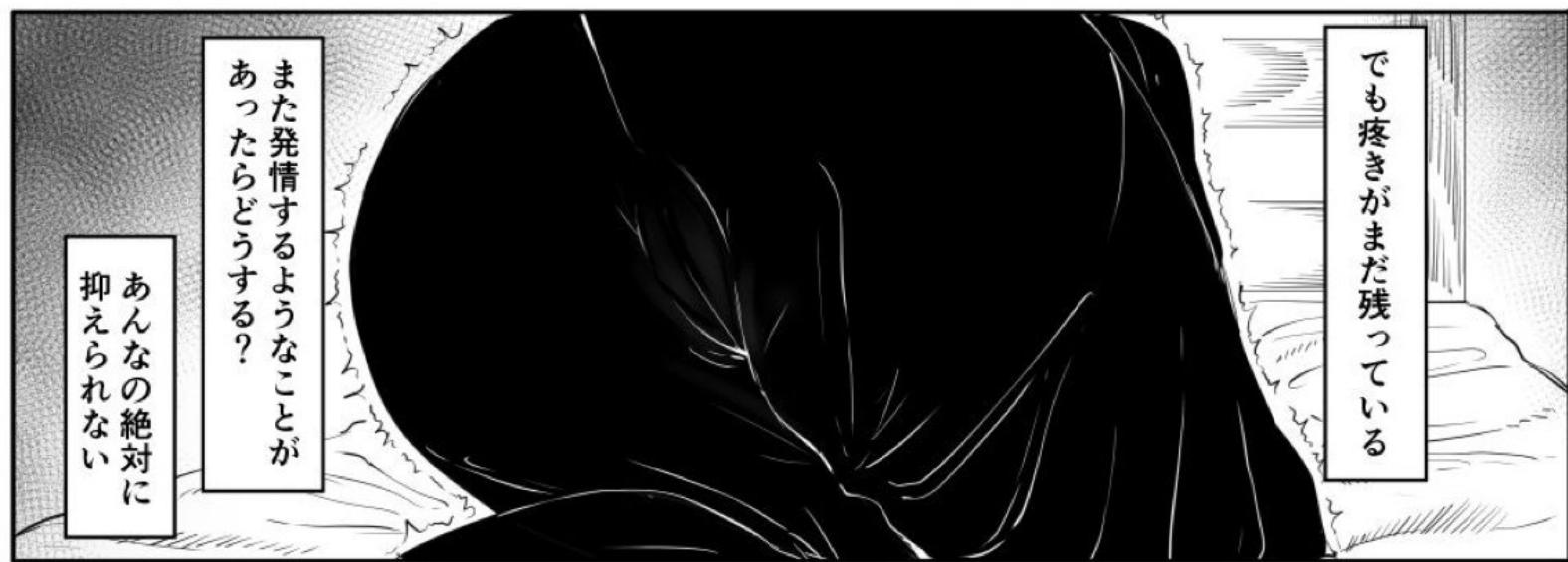
理性がそれを
堰き止めようとしたけど

決壊したダムのように

溢れ出す性の欲求は

私の理性は決壊し

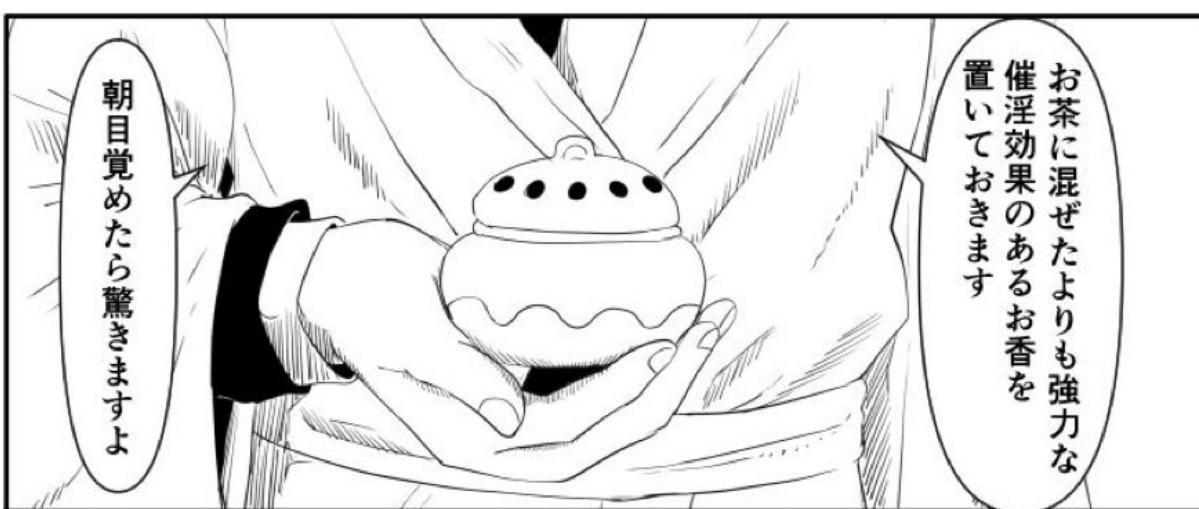
半ば強引に彼を襲つていた



こんな分かりやすい
所にある催眠効果の
お香に気づかないと



お茶に混ぜたよりも強力な
催淫効果のあるお香を
置いておきます



無理矢理するより







お願い…私を抱いてください

なつ何を!?

疼きが昨日よりも激しくてつ

ごめんなさいっ

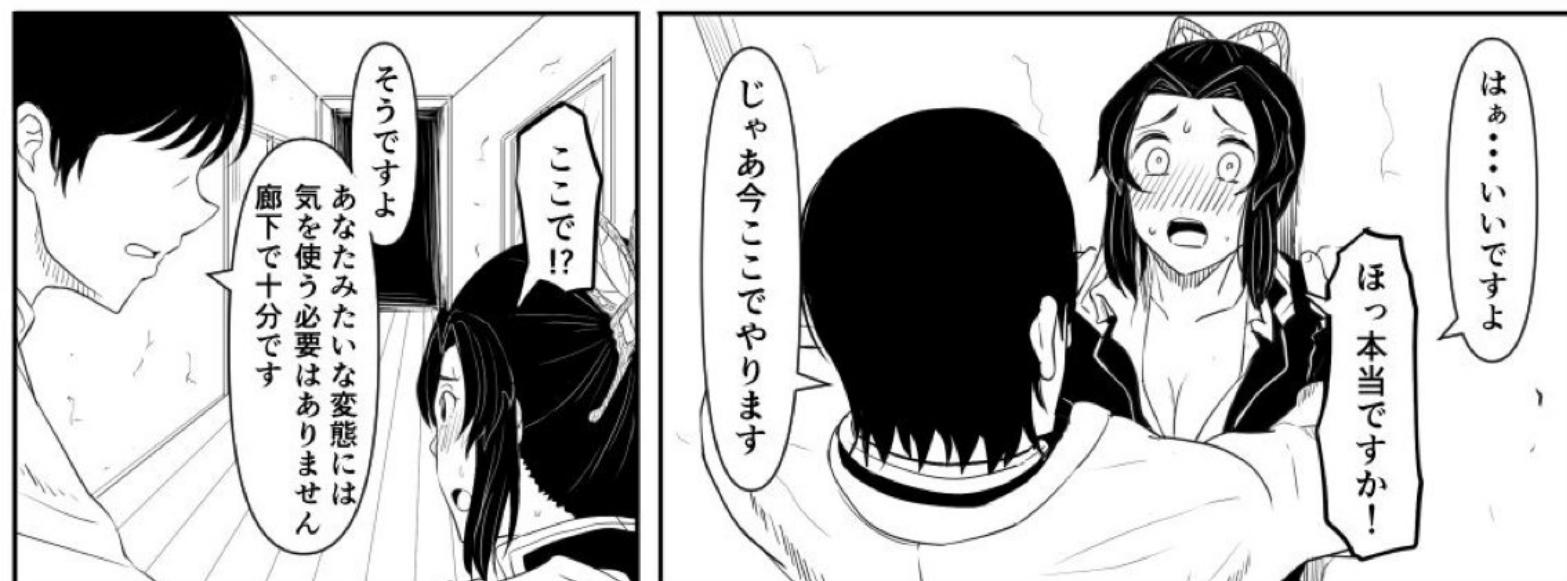
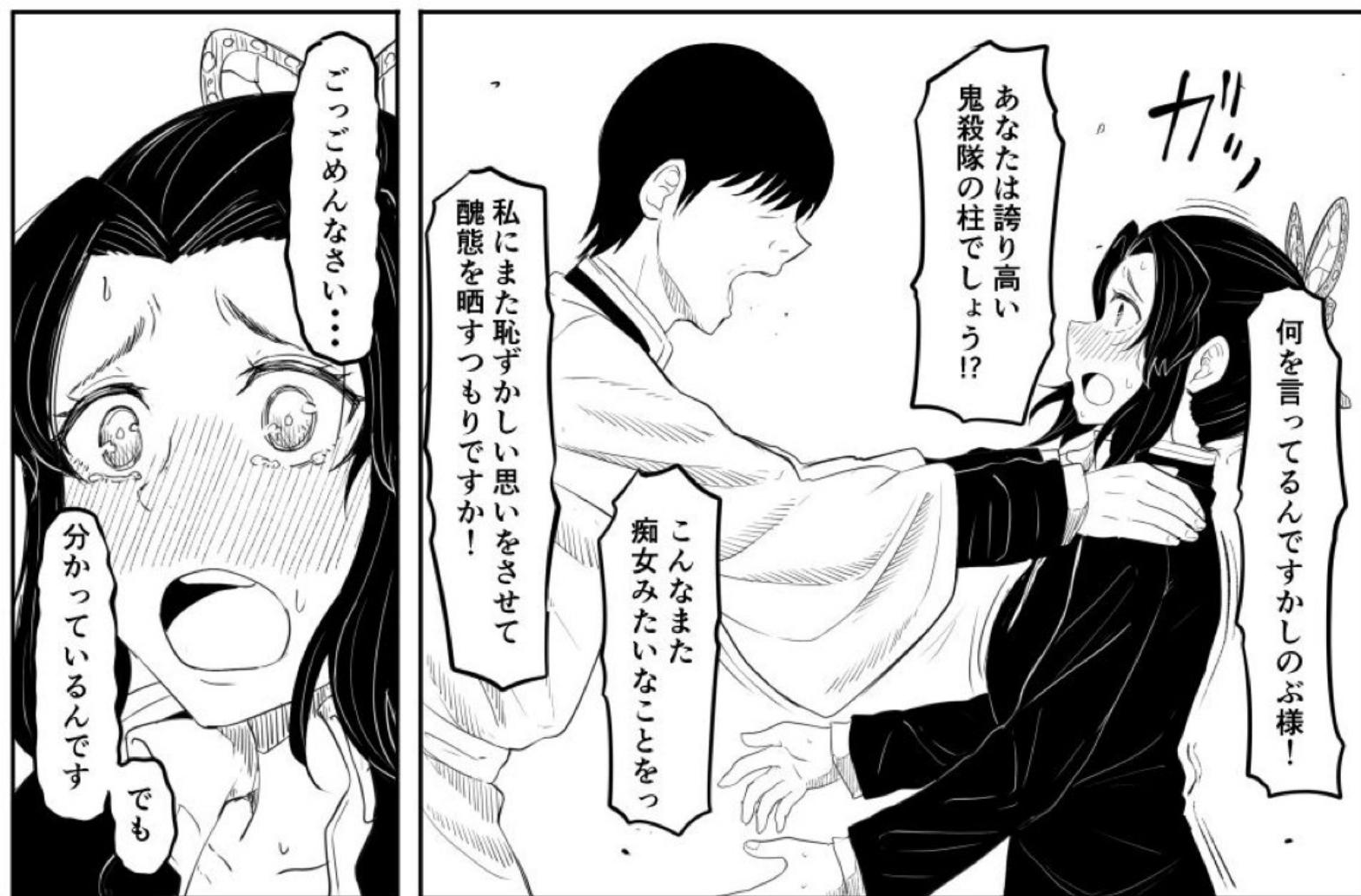
もう我慢が…

お願い

どんなことでもしますつ

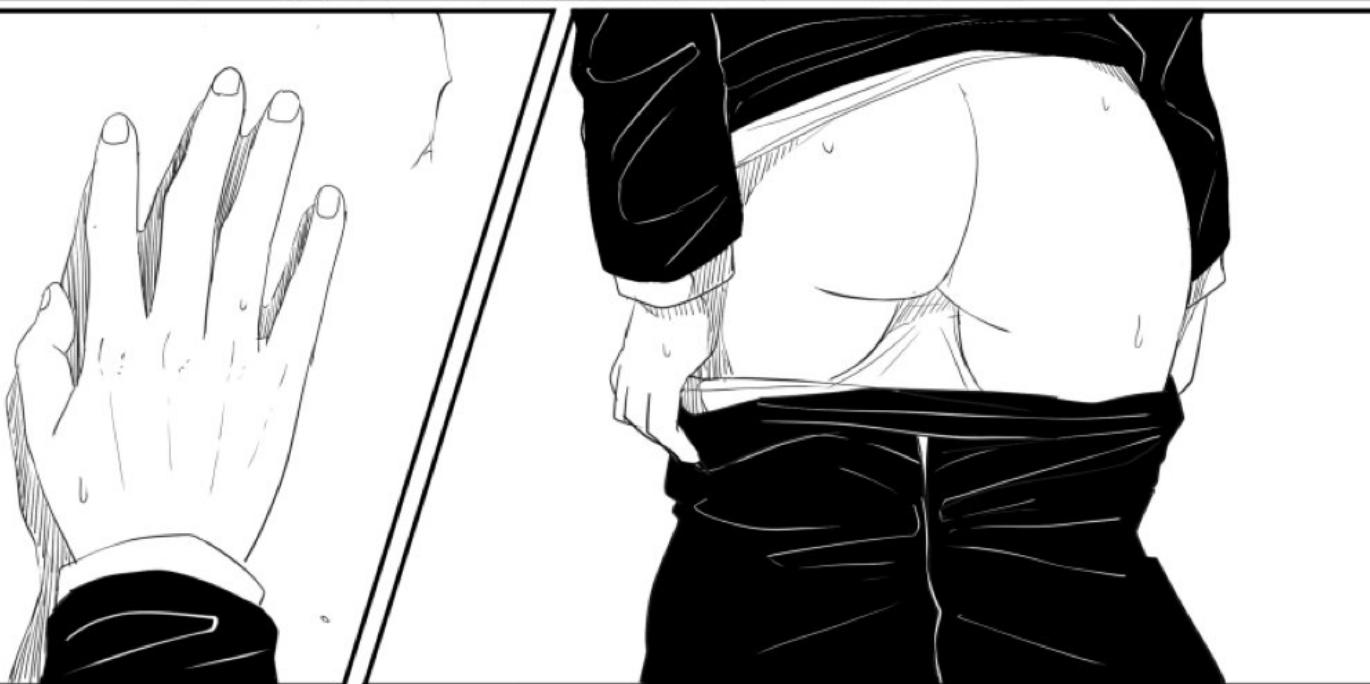
だからどうかあなたの
肉棒で私を犯して!

どんなことをしても
構いませんつ



分かりました…

わっ



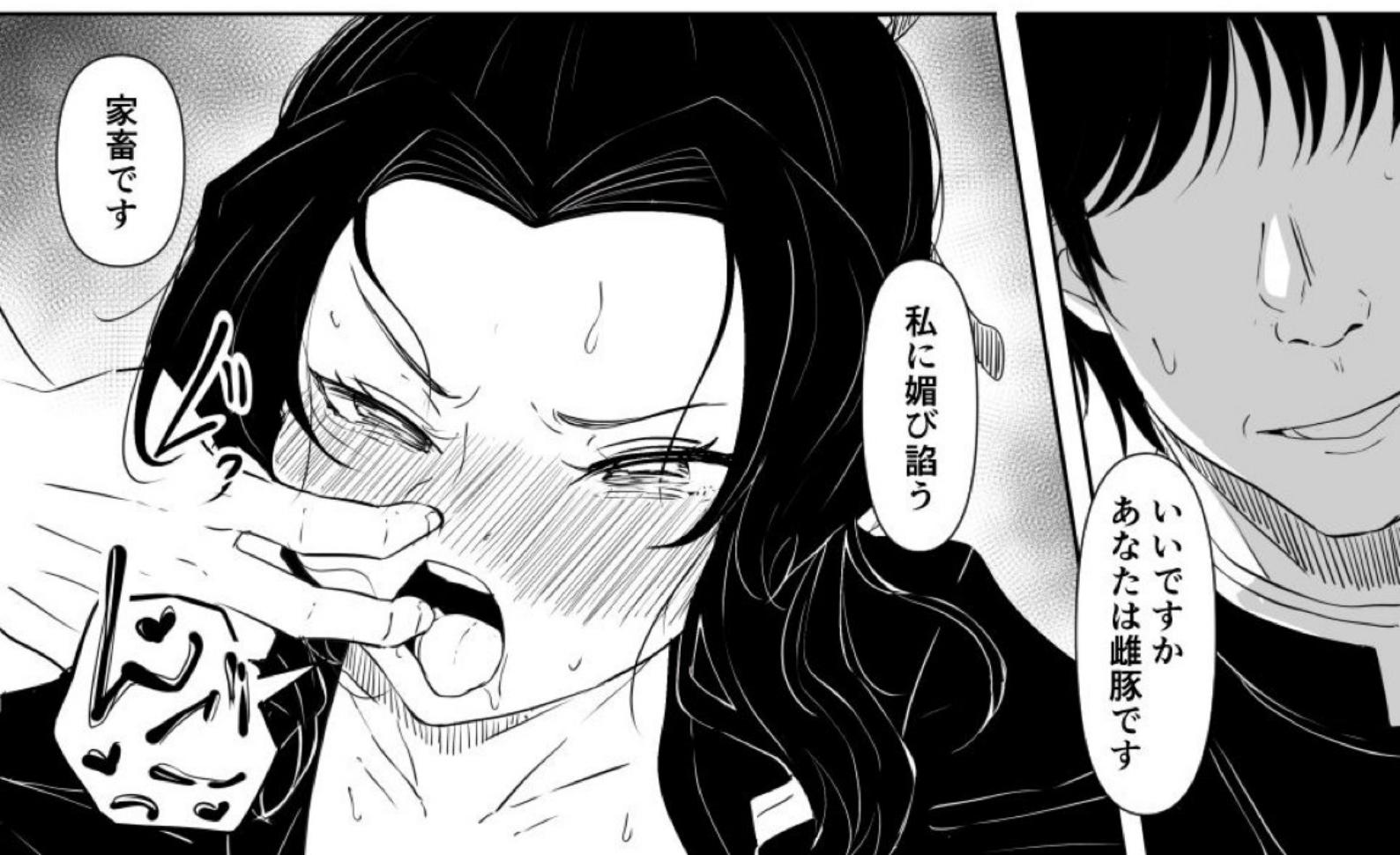
挿れてください

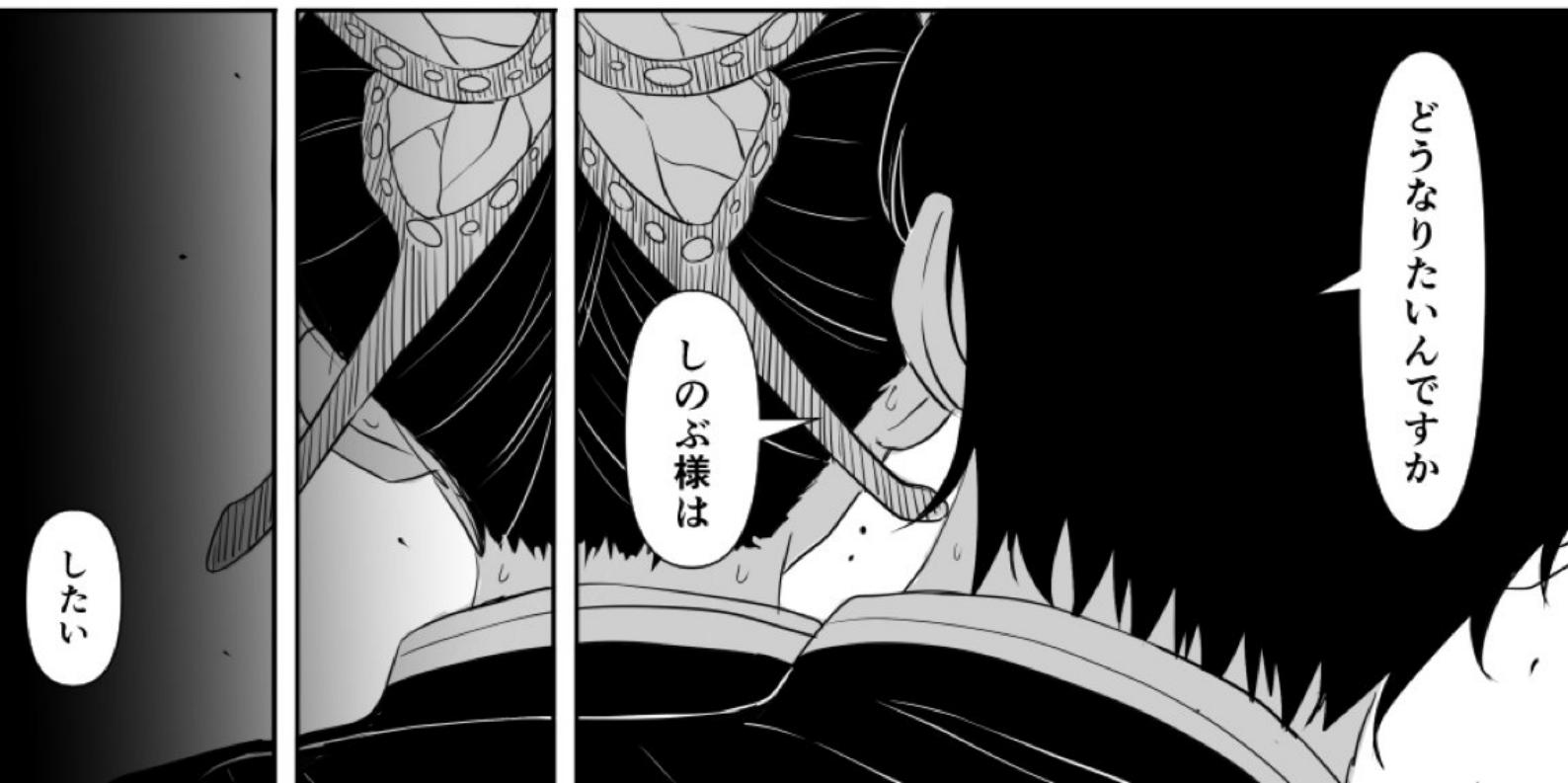
お願いします…











妊娠したい

孕みたい

あくまで

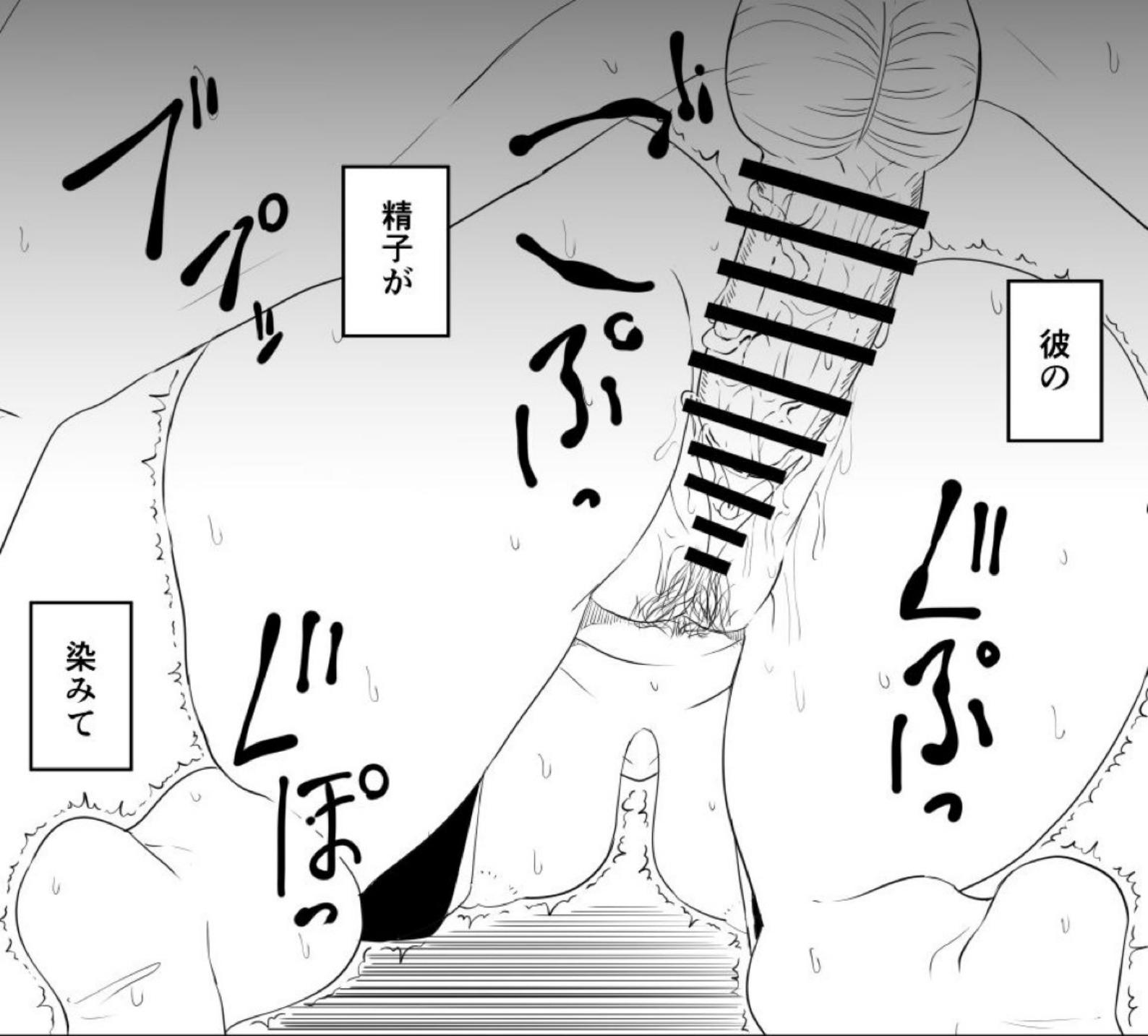
てから

あなたの精子が

子宮にほしい♥

いいですよ





ああ・・私このちんぽに

分かったか?

お前はもう俺の物だ

はあい
♥

夢中だ